

ふりがな ほり まさひろ

氏名 堀 雅博

1. 学歴

1988年 3月 東京大学教養学部国際関係論卒業
1994年 5月 カリフォルニア大学バークレー校経済学研究科修士課程修了
1996年 5月 カリフォルニア大学バークレー校経済学研究科博士課程修了

2. 職歴・研究歴

1996年 8月 - 1998年 7月 長崎大学経済学部 助教授
2010年 8月 - 2013年 7月 一橋大学経済研究所世代間問題研究機構 教授
2018年 8月 - 一橋大学経済学研究科 教授
2018年 8月 - 一橋大学国際・公共政策研究部 教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(b) 大学院

Economics of Public Sector I
Economics of Public Sector II
Economic Analysis of Tax Systems
Economic Analysis of Social Security Systems

B. ゼミナール

大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

講義でもゼミでも、細部よりも全体像を把握してもらうことを重視したいと考えています。
ゼミでは、自力でプレゼン及び論文執筆ができる力をつけてもらいたいと考えています。

4. 主な研究テーマ

研究分野 : 日本・アジア経済論, 計量実証分析
テーマ : 消費の恒常所得仮説をベースとした我が国世帯の経済行動に関連する研究
個票データを活用したマクロ経済政策効果の分析

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文(査読つき論文には*)

「EPA世界経済モデルの構造と財政政策の効果」(共著)『経済分析』経済企画庁経済研究所 114号 1989年
「第4次版EPA世界経済モデルー基本構造と乗数分析ー」(共著)『経済分析』経済企画庁経済研究所 124

号 1991 年

- 「金融政策と日本経済」(共著)『経済分析』第 128 号 経済企画庁経済研究所 1993 年
- 「VARモデルは本当に景気循環の分析に有効なのか」『ESP』No.279 (社)経済企画協会 75-82 頁 1995 年
- "The Great Depression and the Gold Standard - An expository example of Cliometrics," *Journal of Business and Economics*, Faculty of Economics, Nagasaki University 76 巻 3 号 39-90 頁 1996 年 学術雑誌
- 「世帯構成の変化と家計貯蓄率:核家族を想定した世代重複モデルによるシミュレーション分析」(共著)『経営と経済』長崎大学経済学会 77 巻 3 号 89-123 頁 1997 年
- 「短期日本経済マクロ計量モデル:基本構造と乗数分析」(共著)『経済分析』第 157 号第 1 部, 経済企画庁経済研究所 17-63 頁 1998 年
- 「公共投資乗数の変化とマクロ計量モデル」(共著)『経済分析』第 157 号第 2 部, 経済企画庁経済研究所 65-97 頁 1998 年
- 「平成不況と経済対策」(共著)『エコミック・リサーチ』第 5 巻 経済企画庁経済研究所 1-16 頁 1999 年
- 「財務データによる倒産判別分析:与信先デフォルト確率計算の一手法として」(共著)『クレジット研究』(社)日本クレジット産業協会クレジット研究所 26 号 50-68 頁 2001 年
- 「相対価格調整とデフレーション」(共著)『エコミックス』第 7 巻 東洋経済新報社 51-59 頁 2002 年
- 「大恐慌期のデフレーションとその終焉:歴史に見るデフレーションからの脱却」『フィナンシャル・レビュー』(伊藤隆敏編) 財務省財務総合研究所 64 号 86-109 頁 2002 年
- 「銀行破綻とマクロ経済:アメリカ大恐慌と拓銀破綻の経験から」『デフレ不況の実証分析』(原田泰・岩田規久男編)第 6 章 東洋経済新報社 121-144 頁 2002 年
- 「財政政策か金融政策か:素朴なマクロ時系列分析による素描」(共著)『デフレ不況の実証分析』(原田泰・岩田規久男編) 第 3 章 東洋経済新報社 41-73 頁 2002 年
- 「世界大恐慌と金融政策:国際比較による接近」『デフレ不況の実証分析』(原田泰・岩田規久男編)第 9 章 東洋経済新報社 195-215 頁 2002 年
- 「銀行破綻と企業倒産:拓銀破綻と北海道企業」『国際社会科学』東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻 52 号 1-14 頁 2003 年
- *「銀行取引関係の経済的価値:北海道拓殖銀行破綻のケーススタディー」(共著)『経済分析』内閣府・経済社会総合研究所 169 号 24-49 頁 2003 年
- *「マクロ計量モデルにおける乗数推定値の精度:確率的シミュレーションによる評価」(共著)『経済分析』内閣府・経済社会総合研究所 171 号 69-83 頁 2003 年
- 「どうすればデフレ期待を反転できるか? 国民生活モニター調査(個票)による検証」(共著)『経済分析』内閣府・経済社会総合研究所 172 号 60-79 頁 2004 年
- *"Asset Holding and Consumption: Evidence from Japanese Panel Data in the 1990s,"(共著) *Seoul Journal of Economics* 17 巻 2 号 153-180 頁 2004 年
- 「銀行機能低下元凶説は説得力を持ち得るか」(共著)『論争 日本の経済危機:長期停滞の真因を解明する』(浜田宏一・堀内昭義編)第 8 章 日本経済新聞社 245-272 頁 2004 年
- 「カールソン・パーキン法によるインフレ期待の計測と諸問題」(共著)『経済分析』175 巻 167-173 頁 2005 年
- 「都道府県別・業種別にみた 1990 年代以降の中小企業向け貸出市場:どこに問題があったのか」(共著)『経済論集』東洋大学経済研究会 30 巻 2 号 17-36 頁 2005 年
- *「中小企業金融円滑化策と倒産・代位弁済の相互関係:2 変量固定効果モデルによる都道府県別パネル分析」(共著)『経済分析』176 号 4-17 頁 2005 年

- "Consumer Response to the 1994 Tax Cut: Evaluating Japan's First Tax Cut in the 1990s,"(共著)*Hitotsubashi Journal of Economics* 46 卷 1 号 85-97 頁 2005 年
- 「ボーナス制度と家計貯蓄率：サーベイ・データによる再検証」(共著)『経済研究』56 卷 3 号 234-247 頁 2005 年
- *"Does Bank Liquidation Affect Client Firm Performance? Evidence from a bank failure in Japan," *Economics Letters* 88 卷 3 号 415-420 頁 2005 年
- *"Price Expectations and Consumption under Deflation: Evidence from Japanese Household Survey Data,"(共著) *International Economics and Economic Policy* 2 卷 2 号 127-151 頁 2005 年
- *"Did Japanese Consumers Become More Prudent During 1998-1999? Evidence from Household-Level Data,"(共著) *International Economic Journal* 20 卷 2 号 197-209 頁 2006 年
- "Comment: The Impacts of 'Shock Therapy' under A Banking Crisis: Experiences from Three Large Bank Failures in Japan," *Japanese Economic Review* 57 卷 2 号 257-259 頁 2006 年
- *"Do Small Depositors Exit from Bad Banks? Evidence from Small Financial Institutions in Japan,"(共著) *Japanese Economic Review* 57 卷 2 号 260-278 頁 2006 年
- "The Evolving Nature of Capital Flows in Emerging Asia,"(共著) *Asia and Pacific Regional Economic Outlook:World Economic and Financial Survey*, Chapter II, International Monetary Fund 28-49 頁 2007 年
- *"Are Tax Cuts Effective Even in Anticipation of A Future Tax Increase? Evidence from Japan's Unique Episodes in the 1990s,"(共著)*Singapore Economic Review* 52 卷 2 号 167-177 頁 2007 年
- "The Evolution of Trade in Emerging Asia,"*Asia and Pacific Regional Economic Outlook:World Economic and Financial Survey*, Chapter IV, International Monetary Fund 41-53 頁 2007 年
- "Can Asia Decouple? Investigating Spillovers from the United States to Asia,"(共著)*Asia and Pacific Regional Economic Outlook:World Economic and Financial Survey*, Chapter II, International Monetary Fund 27-40 頁 2008 年
- *"The Response of Household Expenditure to Anticipated Income Changes: Bonus Payments and the Seasonality of Consumption in Japan,"(共著) the Contributions tier of B.E. *Journal of Macroeconomics* 9/1,Article34 2009 年
- 「アジアの発展と日本経済：外需動向・為替レートと日本の国際競争力」『マクロ経済と産業構造』バブル/デフレ期の日本経済と経済政策 1(内閣府・経済社会総合研究所 企画監修, 深尾京司編)第 6 章 慶應義塾大学出版会 177-208 頁 2009 年
- *"Do Depositors Respond Rationally to Bank Risks? Evidence from Japanese Banks in the Crisis,"(共著) *Pacific Economic Review* 14 卷 5 号 581-592 頁 2009 年
- "The Impact of Globalization on Economic Development in Myanmar,"(共著) in *Globalization and Economic Development in the Mekong Economies* (Suiwah Leung, Ben Bingham, and Matt Davies ed.) Edward Elgar publishers, UK, 2010 年
- *"Did Japan's Shopping Coupon Program Increase Spending?"(共著) *Journal of Public Economics* 94 卷 7-8 号 523-529 頁 2010 年
- 「『家族関係、就労、退職金及び教育・資産の世代間移転に関する世帯アンケート調査』の概要」(共著)『経済分析』184 卷 141-167 頁 2011 年
- *"Do households smooth expenditure over anticipated income changes? Evidence from bonus payments to public employees in Japan"(共著) *Journal of the Japanese and International Economies* 26 卷 3 号 405-433 頁

2012 年

- *"Changes in the Japanese Employment System in the Two Lost Decades,"(共著) *ILRReview: The Journal of Work and Policy* 65 巻 4 号 810-846 頁 2012 年
- *"Cost of Myanmar's multiple exchange rate regime,"(共著) *The Journal of International Trade & Economic Development* 22 巻 2 号 209-233 頁 2013 年
- 「大相撲「八百長」の誘因構造と実証分析」(共著) 『*経済研究*』 64 巻 2 号 132-146 頁 2013 年
- "INFLATION EXPECTATIONS OF JAPANESE HOUSEHOLDS: MICRO EVIDENCE FROM A CONSUMER CONFIDENCE SURVEY,"(共著) *Hitotsubashi Journal of Economics* 54 巻 1 号 17-38 頁 2013 年
- *"How Does the First Job Matter for an Individual's Career Life in Japan?,"(共著) *Journal of the Japanese and International Economies* 29 巻 154-169 頁 2013 年
- "The Run on Daily Foods and Goods after the 2011 Tohoku Earthquake: A Fact Finding Analysis Based on Homescan Data,"(共著) *The Japanese Political Economy* 40 巻 1 号 69-113 頁 2014 年
- *"Intergenerational Transfers and Asset Inequality in Japan: Empirical Evidence from New Survey Data,"(共著) *Asian Economic Journal: Journal of the East Asian Economic Association* 28 巻 1 号 41-62 頁 2014 年
- 「『家計調査』個票をベースとした世帯保有資産額の推計:推計手順と例示的図表によるデータ紹介」(共著) 『*経済分析*』 189 巻 63-95 頁 2015 年
- 「『家計調査』個票をベースとした世帯年間消費支出額の推計:推計手順と例示的図表によるデータ紹介」(共著) 『*経済分析*』 190 巻 93-128 頁 2016 年
- *"New Evidence on Intra-Household Allocation of Resources in Japanese Households,"(共著) *The Japanese Economic Review* 67 巻 1 号 77-95 頁 2016 年
- *"Do the Rich Save More in Japan? Evidence Based on Two Micro Datasets for the 2000s"(共著)*The Japanese Economic Review* 67 巻 4 号 474-494 頁 2016 年
- *「企業内部の高齢化が設備投資に与える影響—日本企業の財務パネルデータを用いた分析」(共著)『*経済分析*』第 196 号, 135-157 頁 2017 年
- *「高齢化とマクロ投資比率—国際パネルデータを用いた分析」(共著)『*経済分析*』第 196 号, 115-133 頁 2017 年
- *"The incidence of the tuition-free high school program in Japan,"(共著) *Education Economics* 26 巻 1 号 93-108 頁 2018 年
- 「「日本経済と経済政策に係る国民一般及び専門家の認識と背景に関する調査」について:調査の概要と簡易集計結果の紹介」(共著) 『*経済分析*』 197 巻 144-185 頁 2018 年
- *"The intra-family division of bequests and bequest motives: empirical evidence from a survey on Japanese households,"(共著)*Journal of Population Economics* 32 巻 1 号 309-346 頁 2019 年
- 「為替レートと企業業績—企業レベルのパネルデータによる分析」(共著)『*デフレと戦う—金融政策の有効性 レジーム転換の実証分析*』(安達誠司・飯田泰之編) 133-161 頁 2018 年
- *"Is there a retirement consumption puzzle in Japan? Evidence from a household panel dataset spanning several years,"(共著)*Applied Economics* 51 巻 16 号 1784 -1798 頁 2019 年
- *"The Effect of Inheritance Receipt on Individual Labor Supply: Evidence from Japanese Microdata,"(共著)*Japan and the World Economy* 2019 年
- *"Housing Wealth Effects in Japan: Evidence based on Household Micro data," (共著) *The B.E. Journal of Economic Analysis and Policy* 19 巻 2 号 2019 年

*「高齢者の遺産動機と貯蓄行動：日本の個票データを用いた実証分析」(共著)『経済分析』200号 11-36頁
2019年

「賃金プロファイルのフラット化と若年労働者の早期離職」(共著)『雇用システムの再構築に向けて：日本の働き方をいかに変えるか』(鶴光太郎編)第6章 2019年

(c) 翻訳

デビッド・ローマー著『上級マクロ経済学』(初版)(岩成博夫, 南條隆と共訳)(原書名: Romer, David (1996),
Advanced Macroeconomics, first edition, The McGraw-Hill.) 日本評論社 1-625頁 1998年

デビッド・ローマー著『上級マクロ経済学』(第三版)(岩成博夫, 南條隆と共訳)(原書名: Romer, David (2006),
Advanced Macroeconomics, third edition, The McGraw-Hill.) 日本評論社 1-775頁 2010年

B. 最近の研究活動

(b) 国内研究プロジェクト

JSPS KAKEN 科学研究費補助金基盤研究(C)「消費税が世帯の消費行動や世帯間格差に与える影響についての実証的研究」(No. 19K01715), 研究期間 2019- 2021 年度(研究代表者)

(c) 国際研究プロジェクト

JSPS KAKEN 科学研究費補助金基盤研究(B)「主観的認識が家計の金融経済行動に与える影響とその経済学的含意」(No.18H00871, 代表者: 祝迫得夫), 研究期間 2018 - 2021 年度(分担研究者)

7. 学外活動

(a) 他大学講師等

内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官 (2018年8月 -)

国際基督教大学非常勤講師(2020年12月 - 2021年3月)

(b) 所属学会および学術活動

日本経済学会

日本金融学会

(e) その他(公的機関・各種団体・民間企業等における講演等)

ニッセイ基礎研究所研修講師(2019年10月 - 2020年3月)

内閣府委託研究(リベルタスコンサルティング)研究会 委員

9. 一般的言論活動

「消費増税に何が必要か(下)『政争の具』の悪弊脱却を 国民の理解専門家も責任」『日本経済新聞』経済教室, 2018年12月19日。

「生産性高める財政支出(下) 公的支出, 成長への波及低下」『日本経済新聞』経済教室, 2022年2月11日。